

会報

冬
No.192

2021.1

一般社団法人北海道電業協会



年頭ごあいさつ

国土交通省 北海道開発局 営繕部長 増 田 正 一…………… 1

令和3年の新春を迎えて

(一社)北海道電業協会 会長 吉 本 浩 昌…………… 2

法人職務執行者就任ご挨拶

浅海電気(株)札幌支店 執行役員支店長 佐 藤 尚 侍

東光電気工事(株) 北海道支社 支社長 中 畑 久

(株)トーエネック 北海道支社 支社長 宮 内 智 也… 3～4

令和2年度 北海道開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会…………… 5

令和2年度 札幌開発建設部と管内電気3団体及び当協会との意見交換会…………… 6

～シリーズ～ 「私のいちおし」

日本電設工業(株)北海道支店 執行役員支店長 大 東 勝 広…………… 7

～シリーズ～ 1/212便り

そうきたか！な発見がいっぱい ～壮瞥町～

壮瞥町長 田 鍋 敏 也… 8～9

“ワクワク”が生まれるまち ～下川町～

下川町長 谷 一 之…10～11

令和2年度 登録電気工事基幹技能者認定講習会……………12

業界だより、理事会・三役会・委員会報告……………13～14

事務局日誌……………15

編集後記……………16



年頭ごあいさつ

国土交通省 北海道開発局

営繕部長 増田 正一（ますだ しょういち）

新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人北海道電業協会の皆様には、平素より国土交通省における北海道開発行政、とりわけ官庁営繕の事務・事業の執行にご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

去年は、アイヌの文化復興・発展のためのナショナルセンターである民族共生象徴空間「ウポポイ」の施設が完成し、7月12日に開業を迎えることができました。当面は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策をとりながらという状況ではありますが、是非とも足を運んで頂ければと思います。

北海道開発局営繕部は、官庁施設の整備と施設機能を適正に維持するための保全指導の業務を担っています。

官庁施設については、近年の大規模災害の多発や老朽化施設が増加する中、既存施設の最大限の活用を図りつつ、災害に対する国民の安全・安心の確保に的確に対応することが重要です。このため、令和3年度の官庁営繕関係予算の概算要求にあたっては、防災拠点となる官庁施設の防災機能の強化や官庁施設の老朽化対策に重点をおいています。

昨年4月には、内閣府より、日本海溝・千島海溝沿いで想定される最大クラスの地震と津波の検

討結果が公表されました。防災機能の強化においては、このような大規模災害が生じた際にも災害応急対策活動が継続できるよう、防災拠点となる官庁施設の電力の確保が必要不可欠です。また、老朽化対策においても、インフラの長寿命化が社会的課題となる中、施設をより長く安全に利用するためには、建物のライフラインである電気設備の適切な更新が求められます。その施工を担う立場から、電気設備関係の企業・技術者の役割はますます大きく重要となっています。

次に、建設業の働き方改革の取り組みの推進についてです。長時間労働の是正を目的とする働き方改革の大きな柱の一つが、「週休2日工事」の拡大で、もう一つの柱が、ICTの積極的な活用等による現場における生産性向上への取り組みです。

当営繕部では、これまでも週休2日の推進、適正な工期設定、書類の簡素化、適切な予定価格の設定、情報共有システムや電子黒板の活用などを実施してきましたが、現場で働く皆様の長時間労働の是正や休日確保されるよう、発注者としてできることに引き続き取り組んでいきます。

本年が貴協会にとってますます発展する年となりますよう祈念するとともに、皆様のさらなるご活躍とご健勝をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



令和3年の新春を迎えて

一般社団法人 北海道電業協会

会長 吉本浩昌

あけましておめでとうございます。この年末年始は、各ご家庭でご家族のみなさまと過ごされた方が多かったことと存じます。また業務に就かれた会員企業のみなさまには大変ご苦労様でした。心より感謝を申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスに翻弄された1年となりました。世界中で新型コロナウイルスの感染が拡大し、欧米ではロックダウン、日本では緊急事態宣言が発せられ、社会経済活動は停滞を余儀なくされました。一方でそうした状況の中でも仕事を休むことができない“エッセンシャル・ワーカー”にスポットがあたりました。ライフラインを支える仕事の一翼を担う私ども電気工事業界も、当初は新型コロナウイルスの実体がよくわからない中で、離隔の確保を主とする防御対策を徹底して新型コロナウイルス感染拡大の第1波を乗り切りました。北海道外で感染拡大の第2波が始まった頃、水害によって損壊した設備の復旧作業応援のために、九州に出動した会員企業の方々には、コロナ禍の中、長距離の海路、陸路での移動を経て、被災地での復旧作業に従事していただきました。帰路後には経過観察を行っていただき、無事を確認しました。

北海道電業協会も、昨年は残念ながら会員企業のニーズにお応えできるような事業活動を十分に実施することはできませんでした。当協会の重要な事業活動である、会員企業の新人研修や学生を対象とした現場見学会など、技術者・技能者の確保・育成のための事業も中止せざるを得ませんでした。

しかし新型コロナウイルスに翻弄されるのもあと少しのことではないでしょうか。この1年で私どもも新型コロナウイルスに感染しない、感染させないための知見を積み、これを感染拡大防止対策に取り入れて、効果を上げてきています。また、もうすぐ新型コロナワクチンが実用化の段階に達することが期待されます。このワクチンが広く行き渡るようになれば、会員企業のみなさんには今よりも安全な防御対策の下で作業をしていただくことができるようになるでしょう。そしてこの夏には“新型コロナウイルスに打ち勝った証として”東京オリンピック・パラリンピックと札幌でのサッカー、競歩、マラソン競技が無事に開催され、北海道民にも笑顔が戻ってくる年になるものと信じています。

北海道電業協会は、一昨年に創立50周年を迎えることができたことを契機として、さらに次の50年に向けて、当協会の事業活動と事業運営費の抜本的な見直しを行ってきました。令和3年度はその新たな第一歩となる年となります。当協会はこれからも会員企業とともに、高い品質と安全な施工の提供を通じて社会のニーズにお応えし、災害時のライフラインの復旧支援を通じて地域社会に貢献するという当協会の役割を果たしてまいる所存です。

令和3年が会員企業のみなさまにとりましても、北海道にとりましても明るい希望の一年となることを祈念して、新春のご挨拶とさせていただきます。

法人職務執行者就任ご挨拶



浅海電気(株) 札幌支店
執行役員支店長

佐藤 尚 侍

新春の候、会員の皆様におかれましては希望に満ちた新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年の10月1日付けで前支店長の藤本 和也の後任として札幌支店長に就任いたしました佐藤 尚侍でございます。平素は当協会並びに会員の皆様には大変お世話になり、心より厚く御礼申し上げます。

当社は、大正4年(1915年)に個人商店「浅海電気商会」として大阪で創業し、昭和30年(1955年)に現在の「浅海電気株式会社」に改称し、

本年3月で創業106年を迎えます。

札幌支店は昭和29年(1954年)営業所として開設され昭和54年(1979年)札幌支店となり、現在に至っております。

私事ではありますが、札幌生まれの札幌育ちで昭和62年(1987年)に札幌で入社し工事、営業を担当し、大阪本店、東京本店と4年の単身赴任の後、札幌支店に着任いたしました。着任早々ではありますが、新型コロナウイルスの影響もあり先行きが見えない厳しい状況ですが前向きに取り組んで行きたく皆様のご指導ご鞭撻を宜しくお願いいたします。

最後になりますが、当協会の益々のご発展と会員の皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、新任のご挨拶とさせていただきます。



東光電気工事(株)
北海道支社 支社長

中 畑 久

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、益々ご

清栄のこととお喜び申し上げます。

昨年10月1日付で前支社長 倉島 文彦の後任として就任いたしました中畑 久でございます。平素は当協会並びに会員の皆様には格別のご高配を賜り、心より厚くお礼申し上げます。また皆様のご指導、ご鞭撻を賜り協会及び業界の発展に尽力する所存でございますので、何卒宜しくお願い致します。

当社は、大正12年11月に合資会社東光商会を創業、昭和22年に東光電気工事株式会社の設立と共に札幌出張所を開設して以来73年間「良心的な電気工事」を社是とし、道内全域に於いて内線工事、送電線工事、再生エネルギー工事等に携わっ

てまいりました。私事ではありますが、北海道で生まれ育ち、平成3年に本社に入社して以来、東北支社勤務を経て、北海道支社で18年間、全て送電線工事を担当してきました。

現在、コロナ禍で景気の悪化、先行き不透明な状況でございますし、技術者や技能者の高齢化、若者の就業離れなど課題が山積みでございますが、北海道新幹線札幌延伸や再開発事業、オリンピック招致での建設需要の増加など期待できる材料が豊富でございますので、何事にも前向きに取り組んで参りたいと考えております。

最後になりますが、北海道電業協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。

法人職務執行者就任ご挨拶



(株)トーエネック
北海道支社 支社長

宮内 智也

新春の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

ます。

この度、前支社長加藤 祐一の後任として令和2年10月1日付で、北海道支社長に就任いたしました宮内 智也でございます。

平素は当協会ならびに会員の皆様には大変お世話になり、心から厚く御礼申し上げます。若輩者ではありますが、会員の皆様にご指導ご鞭撻を頂きながら、北海道電業協会の発展に最善を尽くす所存でございますので前任者同様よろしくお願

いたします。

さて、弊社は昭和19年10月1日に東海電気工事株式会社として創業いたし、平成元年10月1日から社名を「株式会社トーエネック」と改めました。この社名には「二十一世紀に向けて (TO) エネルギー (ENERGY) 利用の革新技術 (ENGINEERING) をもって快適環境を創造 (CREATE) する企業をめざす」という理念がこめられています。

現在、新型コロナウイルスの影響で、北海道の経済環境は厳しい状況ではありますが、安全かつ革新技術をもって快適環境創りと地域発展に貢献したいと思っております。

最後になりますが、当協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄とご健勝をご祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。



令和2年度 北海道開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会



令和2年10月26日(月)北海道電気会館において、当協会と(一社)北海道空調衛生工事業協会との共催(電気・空衛連絡協議会)で、北海道開発局営繕部の増田 正一部長をはじめ9名の幹部の方々のご出席をいただき意見交換会を実施しました。

当協会からは吉本 浩昌会長他10名、北海道空調衛生工事業協会からは池田 薫会長他12名が出席しました。

はじめに両団体を代表し当協会の吉本会長から「業界として、従来から人材の確保や育成の問題などの課題をお伝えしてきたが、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底や働き方改革といった課題が重みを増しつつあり、こうした課題は一企業や業界内の努力だけでは解決できない要因も多く、関係官庁や団体と密接に連携を取り積極的に取り組みを進めてまいりたい」と事業に対する協力と支援を求めました。

引き続き北海道開発局の増田 正一営繕部長から「建設業の働き方改革における大きな柱となっているのが、公共工事における週休2日の拡大と施工合理化技術の活用による生産性向上への取り組み。本日は、営繕部が実施しているさまざまな取り組み等についての情報提供とともに、業界の現状や課題について伺う機会としたい」と挨拶されました。

この後、意見交換会では北海道開発局営繕部の担当の皆さまから議題について詳細な説明がありました。

協会からは、①働き方改革の実現について

②分離発注の継続のお願い ③安定的な工事量の確保についての3項目を要望いたしました。

これに対し営繕部からは、

- ・働き方改革の実現については、本省からの通知を踏まえ、今後も当局が発注する営繕工事において設備工事の施工期間を確保した工期となるように適切な工程管理に努めていく。また週休二日制について、今後発注者指定方式について検討してまいりたい。
- ・分離発注については、これまで設備工事において合理的と認められる場合は分離発注を活用しており、今後も適切に継続してまいりたい。
- ・安定的な工事量の確保については、道民の安心・安全に向けた防災拠点となる官庁施設の防災機能の強化や長寿命化を実施しているところであり、今後ともこれらの趣旨に沿って、防災機能に対する設備機器の更新・増設や長寿命化に対して必要な事業を進めていく。

と回答をいただきました。

【主な議題】

1. 令和2年度 北海道開発局営繕事業の概要
2. 営繕工事における働き方改革の取り組み
3. 営繕工事の入札契約に関する運用方針
4. 特例管理技術者及び管理技術者補佐の取り扱いについて
5. 公共建築工事積算基準類の改訂について
6. 見積活用方式について
7. 要望事項等について

令和2年度 札幌開発建設部と管内電気3団体及び当協会との意見交換会



令和2年9月9日(水)札幌開発建設部会議室において、札幌開発建設部と管内電気3団体（札幌電設業協会、札幌電気工事業協同組合、空知地方電気工事協同組合）及び当協会との意見交換会が開催されました。

札幌開発建設部からは中島 州一事業調整官をはじめ8名の幹部の方々のご出席され、当協会からは鈴木 暁彦副会長、門脇 雅明経営委員長ほか同委員会委員を主体に9名が出席しました。

はじめに3団体代表からの挨拶の後、当協会の鈴木副会長からは、意見交換会の開催調整に謝意を示すとともに「毎年意見交換会で要望等を行っているが、それに対する具体的な取り組みや説明があり、当協会の意見を内部でよく検討して頂いている。今回は事業者側に対して具体的な質問を頂いており、会社によって各事案に対する立場や状況は異なるところはあるが、この意見交換会がより良いものになっていくと感謝申し上げる」と挨拶されました。

引き続き札幌開発建設部の中島 州一事業調整官から「新型コロナウイルス感染防止対策での制約でご不便をおかけするなか、当部管内の電気及び電気通信工事発注に理解と協力をいただき感謝申し上げます。本日は業界の意見や要望を伺い、安定した入札契約となるよう期待するとともに、相互の立場から意見交換を行い、当部電気通信部門の課題解決に生かしたい」と挨拶されました。

この後、意見交換会では北海道開発局と札幌開発建設部の担当の皆さまから最近の入札動向などについて話題提供がありました。

札幌開発建設部からは、①技術者不足のなか、発注件数を少なくする「発注ロットの大型化」について ②工事成績評定に関する今後の分析ならびに相互理解について ③アフターコロナにおける対応についてなどの項目について意見・要望の確認がありました。

これに対し業界側からは、

- ・発注ロットの大型化については、昨年までの業界側からの意見を反映して頂いているが、今後も技術者不足を解消するため、大型化案件数の増加を希望する。
- ・工事成績の結果について、現在公表されていない配点の詳細な根拠を教えてください。
- ・コロナ等の影響で機器や材料の納期が長期化し、単年度施工工事では納期に間に合わない場合も発生しており、柔軟な対応をお願いしたい。

などの意見・要望が述べられました。

【主な話題提供】

(1)北海道開発局からの話題提供

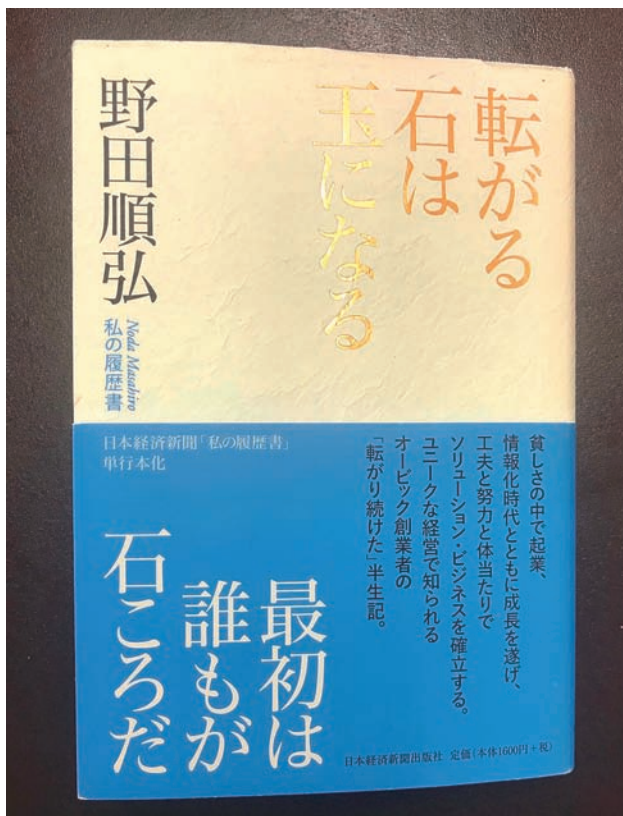
1. 電気通信設備工事等の動向について
2. 電気通信工事の積算基準について
3. 新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインについて
4. ウポボイの整備について

(2)札幌開発建設部からの話題提供

1. 最近の発注実績
2. 昨年からの入札契約及び積算の変更点
3. 工事参加表明添付資料についてお願い
4. I型工事の施工計画に基づく留意事項提出時のお願い

～シリーズ～ 「私のいちおし」

日本電設工業(株)北海道支店
執行役員支店長 大東 勝広



近頃は明るい話題もなく、3密回避が合言葉となっていますが、私も近場でのゴルフと空いているサウナを探すしか無い生活が続いております。この原稿を書いている時期（11月末頃）は、外出自粛期間に準ずるとの思いで、会食も旅行も出来なく、「私のいちおし」の寄稿依頼に、どうしたものかと思案しておりましたが、断捨離の中で久々に書棚を整理して見つけた本が有りました。余談ですが、やはり古本は二束三文でした。日本経済新聞の文化面で、普段はあまり読むことが無い「私の履歴書」に掲載されていた文章を単行本化されていたものです。題名に強烈な印象が有り惹かれ購入していました。

本年秋号に、副会長就任に際し寄稿させていただきましたが、その中に【ためになった本】として紹介した「転がる石は玉になる」を、今回私のいちおしとして紹介いたします。また、文中には【好きな言葉】も記載しましたが、私としては、若手社員時代の問題行動が多かった反省を踏まえ、中堅となった頃より【転がる石には苔が生えぬ】を行動理念としていました。イギリスのことわざではネガティブな解釈ですが、アメリカではポジティブに「活動的にいつも動き回っている人は能力を錆びつかせない」の意味合いが有ります。

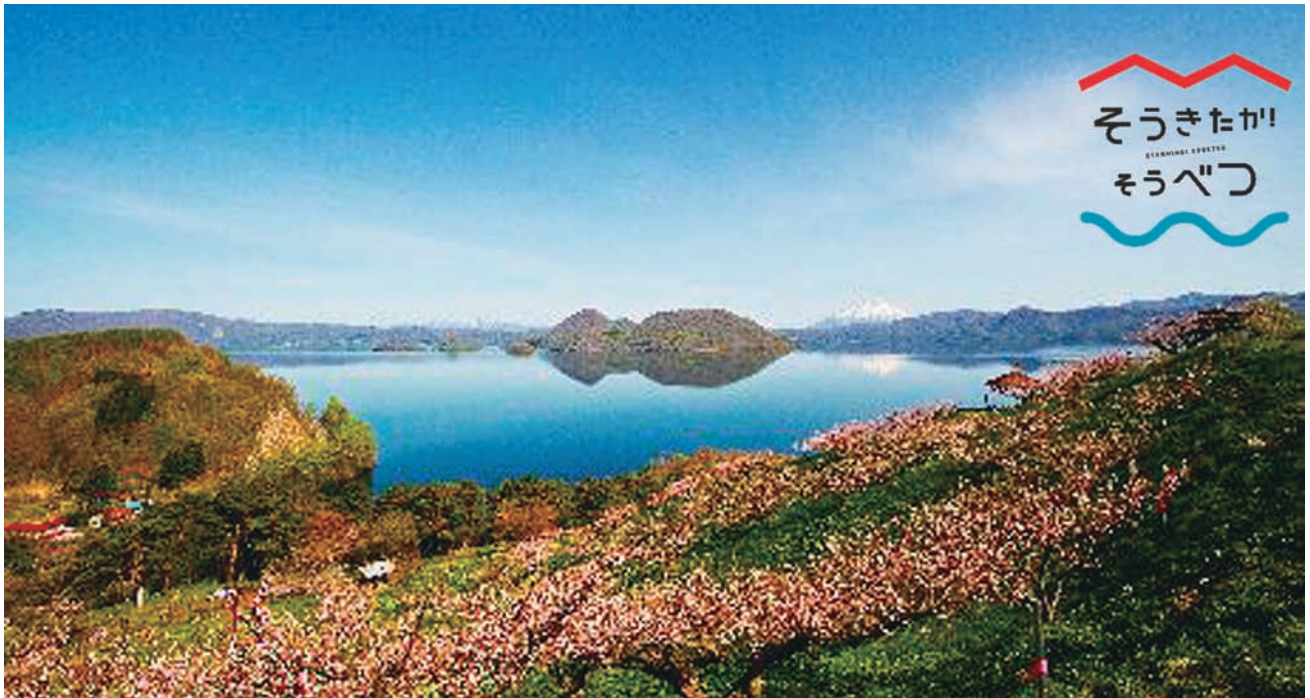
本の内容に関しては、オービック創業者で有る野田会長の経験に即したことの羅列が殆どで有りますが、人となりとしては、商売の基本である信用・信頼を第一とし、社員を大事にし、育成したことに尽きるかと思えます。各時代の中で、皆の幸せのために、最善の方法を見つけ努力を厭わぬ、稀代の経営者と思えます。本書のまえがきに《誰もが最初は石ころに過ぎない。流れは石を転がす。・・・試練を乗り越え、苦難を克服するうちに玉に近づいていく・・・「転がれ。転がることを厭うな」》と述べられております。転がる石の捉え方に大変興味が沸く一書となりました。約200ページですが、行間が広く字数が少ないので、大変読み易い1冊です。お気軽にどうぞ。

私も苔が生えないように、輝くことはできないけれど、丸い玉になる努力は続けていこうと思えます。



そうきたか！な発見がいっぱい～壮瞥町～

壮瞥町長 田 鍋 敏 也



■まちの概要

北海道の南西部に位置する壮瞥町は、東はオロフレ山、西は有珠山と昭和新山に囲まれ、壮瞥温泉、洞爺湖温泉、弁景温泉、蟠溪温泉などの豊かな温泉資源を有しています。

本町はその全域が世界ジオパークネットワークに加盟した「洞爺湖有珠山ジオパーク」のエリアに含まれ、また、洞爺湖周辺とオロフレ山周辺は支笏洞爺国立公園に含まれます。

気候は北海道では珍しい温暖な地に属し、気温は年平均7～8℃程度で、夏は涼しく、冬は温暖となっています。積雪は平坦地で30cm程度と、他の道内地域と比べて少ないのが特徴です。

壮瞥町の友好都市であるケミヤルヴィ市（フィンランド国ラップランド州）とは、平成7年度から町内の中学生全員を全額公費で海外研修させる『中学生フィンランド国派遣海外研修事業』を実施し、交流を続けています。これは、全国的にも珍しい事例ですが、小さな町だからできる事業に取り組んでいます。



■壮瞥町の観光スポット

町内にはいくつもの観光スポットが存在していますが、今回の記事では2つをご紹介します。

◎昭和新山

昭和18年の噴火活動で麦畑が隆起してできた昭和新山。60年以上を経た今でも大地のエネルギーを体感できます。駐車場周辺には、熊牧場、有珠山ロープウェイ、三松正夫記念館などの見学施設やレストラン、土産店も多数あります。



◎洞爺湖

11万年の時の流れを今に伝える洞爺湖は、今から11万年余り前の火砕流を発生する巨大噴火で生まれたカルデラ湖です。

火砕流の噴出源が陥没して「洞爺カルデラ」ができ、さらにその窪みに雨水などがたまって洞爺湖が誕生しました。

面積は支笏湖に次いで北海道で4番目、水深は全国でも6番目に深い湖です。「日本百景」「新日本旅行地100選」などにも選定されている場所で、夏期間はキャンプ場などがにぎわいます。



洞爺湖を楽しめる仲洞爺キャンプ場

■ 壮瞥町の特産品

太陽と地熱。壮瞥町は地球のエネルギーにあふれています。壮瞥町の農業は温暖な気候や火山の恵みである肥沃な土地を生かし、水稻、畑作、施設栽培、果樹園、畜産など多種多様な農業が行われているのが特徴です。



主要道路（国道453号）の沿道を包むように広がる果樹園では、サクランボ、いちご、ぶどう、りんご・・・春から秋まで収穫の実りを絶やしません。壮瞥町では、シーズンを通して何らかの果物を味わうことができ、果物狩り体験もできる観光果樹園に多くの方が訪れています。

また、壮瞥町では恵まれた地熱エネルギーを活かした施設農業が盛んで、トマトなどの野菜のほか、花卉栽培も季節を問わず、「旬」を収穫しています。

そのほかにも、安全・安心でおいしい低タンパク米づくりに挑戦する「壮瞥町こだわり米を作ろう会」では、独自の厳しい品質基準（タンパク含有率等）を設け、基準を満たしたお米だけを「そのみのり」としてお届けしています。減農薬・

化学肥料抑制による、コメ本来の旨みとねばりが特徴です。



壮瞥町の特産品はまちの道の駅のほか、『ふるさと納税』でも購入することができます！

■ 壮瞥町のイベント

◎ そうべつりんごまつり（毎年10月）

特産のりんご詰め放題をはじめ、地物野菜の格安販売コーナー、ステージイベントで盛り上がる秋の味覚祭りです。洞爺湖和牛を購入し、無料貸し出しコンロで楽しむ焼肉も必食！



◎ 昭和新山国際雪合戦（毎年2月）

やっかいものの雪を活用し、北国の冬を元気にしようと町民が考案した冬のニュースポーツ「雪合戦」は、いまや壮瞥発の「Yukigassen」として世界共通語です。各地の予選を勝ち抜いた約150チームが“聖地”と呼ばれる昭和新山のふもとに集い、熱いバトルを繰り広げます。プレーヤーとしてはもちろん、観客としても楽しめます！



◀ 昭和新山国際雪合戦
マスコットキャラクター“ブラッキー”

◇ 壮瞥町ホームページ

<https://www.town.sobetsu.lg.jp/>



“ワクワク” が生まれるまち～下川町～

下川町長 谷 一 之



■ まちの概要

下川町は、北海道北部に位置し、明治34年の開拓以来豊かな大地と恵まれた森林資源のもと農林業を基幹産業として120年の歴史を刻み発展してきました。

人口は3,206人（令和2年4月1日 現在）。面積は644.2km²、東西20km、南北30km、東京23区（623.0km²）と同程度の大きさです。**総面積の88%を森林が占めており**、林業を基幹産業とし取り組んでいます。

気候は内陸性の気候で寒暖の差が激しく、最高気温は約30℃、最低気温は約-30℃と年間の温度差は60℃以上にもなります。降雪は11月下旬頃から3月下旬頃まで続き、冬が長く夏が短い地域です。

■ SDGs未来都市下川町

下川町では持続可能な地域社会の実現に向け、経済・環境・社会の3側面の統合的な解決への取組を進めてきました。

下川町の豊富な森林資源を活用した森林総合産業の構築（経済）や環境負荷の低い木質バイオマスエネルギーによる地域熱エネルギーの自給と活

用（環境）、集住化や木質バイオマスエネルギーの活用による熱供給や産業の創出などを行い限界集落を再生させる「バイオブリッジ」(社会)などの取組を行いました。

これらの取組がSDGs（※）のコンセプトに合致し、2017年に「持続可能な開発目標（SDGs）推進本部（本部長内閣総理大臣）」が創設した「第1回ジャパンSDGsアワード」の推進本部長（内閣総理大臣）賞を受賞しました。

官民連携で下川町の将来のビジョンである「2030年における下川町のありたい姿」7つの目標を作成し、「誰ひとり取り残されない」町を目指し、具現化への取組を進めています。

（※）SDGsとは国連が定めた持続可能な開発目標のこと。2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す。

■ 観光スポット

◎五味温泉

下川市街地から約6kmに位置する自然に包まれた、100年の歴史をもつ、山あいの静かな温泉地です。

泉質は国内では珍しい良質な「含二酸化炭酸水素塩泉」が湧き出る温泉であり、神経症、皮膚病に有効で『美人の湯』として親しまれております。また、炭酸ガスが皮膚粘膜等の毛細血管を拡張し、心臓の拍動を増やさずに血液の循環がよくなるので、高血圧症にも心臓に負担をかけずに血圧を下げる事が出来、ヨーロッパでは『心臓の湯』と称され貴重な温泉と言われております。



五味温泉の露天風呂

◎万里長城

市街地から南へ1キロメートル、緩やかなカーブを描く丘陵に突如として延々と続く石の城壁が現れます。それが下川町のシンボルである「万里長城」です。

当時特別な観光資源のなかった下川町では、日本一の手づくり観光を目指し、1986年より石積みが始まりました。昔なつかしい「モッコ」を使い、石を一つひとつ積み上げ、手作りで作り上げました。

2000年には全長2,000mが完成し、築城を終えています。

この万里長城は町内のイベントの会場としても利用され、毎年5月第3日曜日には、下川町の一大会祭である「万里長城祭」が開催されたたくさんの来場者でにぎわっています。



万里長城

■おもなイベント

◎万里長城祭

下川町の観光スポットである万里長城を会場として、広場で行われるBBQのほか、実際の築城作業の際に活用した「モッコ」を使って石を運び、到着タイムを競う「モッコレース」など万里長城にちなんだ催しが行われます。

◎うどん祭り

下川町の特産品である手延べうどんを味わうことができる出店が立ち並ぶほか、全国で有名なうどん店も出店し、数々のうどんを楽しむことができます。

たくさんのおいしい出店のほか、「うどんのつかみ取り」や「うどん早食い競争」など、うどんをふんだんに使った催しも行われます。

◎アイスクヤンドルミュージアム

下川町が日本発祥の地となるアイスクヤンドルが街中に飾られ、町全体がミュージアムとなり、幻想的な風景を楽しむことができます。

たくさんのお店が立ち並び、極寒の空の下で行われる「真冬のBBQ大会」やステージイベントなど様々な催しが行われます。そのほか、スマートフォンアプリ「インスタグラム」から応募できる、アイスクヤンドルフォトコンテストなども行われます。



アイスクヤンドルミュージアム

◇下川町ホームページアドレス

<https://www.town.shimokawa.hokkaido.jp/>

◇しもかわ観光協会

<http://www.shimokawa-time.net/>

令和2年度 登録電気工事基幹技能者認定講習会



令和2年10月24日(土)～25日(日)北農健保会館において、登録電気工事基幹技能者認定講習会が開催され、全道から24名が受講しました。

この講習会は、国土交通省の提唱による「基幹技能者の確保・育成・活用に関する基本方針」をふまえ、(一社)日本電設工業協会が策定した「電気技能労働者育成指針」に基づき、電気工事業界における基幹技能者を認定する講習会です。

登録基幹技能者は、公共工事の総合評価方式の加点項目に設定されているほか、建設キャリアアップシステムでゴールドカード対象として建設技能者の能力評価制度では最上位に位置付けられています。

初めに当協会の宇野専務理事から「現場では、コストの低減・生産性の向上・品質や安全保障の確保といった課題に常に取り組みなければなりません。現場の技術者に対して適切に指導・統率できる登録電気工事基幹技能者の確保と育成が求められています。講習会を通じて施工管理などの知識を十分に理解し、最終日の修了試験には全員合格して欲しい」と呼びかけました。

認定講習会は全国一斉に行われ、当協会の認定講習試験委員が講師となり、電気工事基幹技能者の役割や基礎知識など幅広い内容を講義しました。受講者は資格取得に向け、重要な箇所にアン

ダーラインを引いたりメモを取りながら講義の内容に熱心に耳を傾けていました。

修了試験合格者には、令和3年1月末日までに、登録電気工事基幹技能者講習修了証の交付が予定されています。

【講習内容・講師】

1. 開会挨拶 (一社)北海道電業協会専務理事
宇野 徹
2. 登録電気工事基幹技能者のあり方
電気工事における新材料・新工法
川口 博氏
(北海電気工事(株) 電設工事部技術Gマネージャー)
3. OJT教育
宮森 慎一氏
(拓北電業(株) 常務取締役)
4. 施工管理・事務管理・原価管理関連法規他
末武 寛章氏
(株)北弘電社 内線技術部担当課長)
5. 資材管理・安全管理・労務管理
宮森 慎一氏
(拓北電業(株) 常務取締役)
6. 品質管理・環境管理
小川 恒明氏
(協信電気工業(株) 常務取締役)



川口講師



宮森講師



末武講師



小川講師

業界だより

【法人職務執行者の変更】

(令和2年10月1日付)		(令和2年10月1日付)	
○浅海電気(株)札幌支店		○東光電気工事(株)北海道支社	
(新) 執行役員支店長	佐藤 尚侍	(新) 支社長	中畑 久
(旧) 執行役員支店長	藤本 和也	(旧) 執行役員支社長	倉島 文彦
(令和2年10月1日付)			
○(株)トーエネック北海道支社			
(新) 支社長	宮内 智也		
(旧) 支社長	加藤 祐一		

理事会・三役会・委員会報告

|| 理事会

◇令和2年10月23日(金)

第4回議題

【協議事項】

1. 令和2年度下期の役員会日程の一部変更について
2. 令和2年度内の協会行事への対応と運営について(案)
3. 会員代表者の変更に伴う対応について
4. 臨時総会の開催について
5. 臨時総会付議事項について
6. 北海道開発局営繕部との意見交換について
7. 定款第21条第5項の規定に基づく報告について

【報告事項】

1. 令和3年電気関係賀詞交歓会の中止について
2. 会員の諸変更について
3. 令和2年11月～12月の行事予定について

◇令和2年12月18日(金)(書面開催)

第5回議題

【協議事項】

1. 定時総会までの協会主要業務スケジュールについて
2. (一社)北海道電業協会 中間経理報告(令和2年度上期決算)
3. 電設協 建設業キャリアアップシステムへの追加出捐について

【報告事項】

1. 令和2年度 北海道開発局営繕部との意見交換会(開催結果)
2. 令和2年12月～令和3年1月の行事予定について

|| 三 役 会

◇令和2年10月6日(火) 12:00~13:30

第5回議題

【協議事項】

1. 令和2年度下期の役員会日程の一部変更について
2. 定款第21条第5項の規定に基づく報告(案)について
3. 令和2年度内の協会行事への対応と運営について
4. 会員代表者の変更に伴う対応について
5. 令和2年度 臨時総会~経営者懇談会・セミナーの開催について
6. 令和3年電気関係賀詞交歓会の開催の件

【報告事項】

1. 北海道建設業審議会の開催について(案内)
2. 会員の諸変更
3. 令和2年10月~11月の行事予定について
その他意見交換

◇令和2年11月10日(火) 12:00~13:30

第6回議題

【協議事項】

1. 令和3年度 電業協会及び電設協道支部の役員会等日程(案)について
2. 北海道電業協会 令和2年度上期決算報告について
3. 任期満了に伴う次期役員等の改選に係る対応について

【報告事項】

1. 電設協 令和3年「新年賀詞交歓会」の中止について
2. 会員の諸変更
3. 令和2年11月~12月の行事予定について
その他意見交換

|| 経営委員会

◇令和2年12月9日(水) (書面開催)

第3回議題

【報告事項】

1. 第293回政策委員会の開催概要について
2. 令和2年度 北海道開発局営繕部との意見交換会について
3. 今後総会までの主要業務スケジュール

|| 広報委員会

◇令和2年12月15日(火) (書面開催)

第3回議題

1. 会報「冬号」の校正について

編集後記

本号の巻頭言は、北海道開発局営繕部長の増田 正一様をお願いし、年頭のご挨拶を頂きました。公務多忙ななか、ありがとうございました。

さて、本来であれば「新年あけましておめでとうございます」と申し上げるべき本号ですが、編集時の今はまだコロナ感染拡大がおさまりません。また、取材もままならず、集合しての編集作業もままならず、毎年恒例の新春特集なども中止せざるを得ず、少しさびしい広報誌となってしまいました。お詫び申し上げます。

一方、今朝「はやぶさ2」のカプセルが無事オーストラリアに着陸したという嬉しいニュースが飛び込んできました。日本の技術のすばらしさを感じるとともに、大変ロマンのある話だと思いました。

今、皆様もコロナ感染防止に配慮しながら仕事など頑張っておられると思います。この新型コロナウイルスが皆様の我慢とワクチンなどの開発により、一日も早く終息することを祈念しております。

広報委員長 萩本 哲夫



発行 令和3年1月
一般社団法人 北海道電業協会
札幌市中央区北1条東3丁目1-1
北電興業ビル4階
TEL(011) 271-2932
FAX(011) 271-2952
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp
<http://www.dodengyo.jp/>